



TITLE:

春の星

AUTHOR(S):

---

CITATION:

春の星. 天界 1941, 21(239): 139-139

ISSUE DATE:

1941-04-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168171>

RIGHT:

的な態度を採らしめなければならぬと考へる。——商人の横柄な態度を憤る人はあり、又、近頃は官吏の横柄な態度を憤る人は増して來たけれど、未だ學者の横柄を憤慨する人が世に少いのは、之れは永年の習慣に捕はれて、世人が未だ學者は官僚だといふ迷信を持つてゐるのによるのだらう、困つたものである。

▲戦時に於ける歐洲の學界は、どんなものだらう？ グリニチ天文臺が爆撃されたのは驚くべきことだが、之れには其れ相當な理由があるのだらうと思はれる。先年、南京の紫金山天文臺が日本軍の攻撃的となつたのは、この學術研究府が支那軍によつて砲兵の基地として亂用されたためであるが、グリニチは、英國側があの公園を、やはり、軍事の基地としたがためではなかつたか？ と疑はれるふしもある。

戦争中にも拘はらず、彗星の來往が激しく、學界は忙しい活躍を見せてゐる。殊に、近頃のニュースによると、元のポーランド、フィンランド、ベルギー、デンマーク、フランス等の天文臺や天文學者が、依然として研究につとめてゐるのは感心なものである。戦争圏外に立つてゐる米國や南阿の學者たちが盛んに奮勵してゐるのは言ふまでもないことであるし、ドイツの天文學者も、あの渦中にあつて、勇ましく各々其の職域に活躍してゐる。こうした中にあつて、我が國の天文學者（専門家）が依然として眠つてゐるのは、どうしたものか？！ 慣れない日食の觀測の準備だとか、計畫だとかで、御茶を汚し、今更、遅まきの天文用語談義などに浮身をやつしてゐられるらしいが、かんじんの望遠鏡が全く遊んでゐる現状は、何とかならぬものか？ 之れにつけても、我が國の學界は、アマチュア天文家に大きい期待をかけねばならない。四十年來、吾が國の官僚天文學者は、プチ理論家たるにのみ甘んじて、實地觀測の重要なことを思はず、いくら器械を買ひ込んでも、之れを使はないまゝに放つて置くことになつて了つた。年々出る五人十人の大學天文科卒業者の中から果して幾人の觀測者が現はれたかといふ事實を正視すると、世人は何時までも此の状態を許してはおかないだらうと思はれる。今、東京や京都や仙臺あたりの官立天文臺が一擧に無くなつた所で、世界の天文學界は何の痛痒を感じないだらう。之れに反して、我が國の優秀勉勵なアマチュア天文家が無くなれば、世界には、いくらか、こたえるのである。（紀州の濱邊にて、1941-3-10）

### 春 の 星

かがり火 照らし出す櫻の うへの星	井 泉 水
五 月 闇 星を見つけて 拜みけり	路 通
苗 代 や にぎやかに見る 星 の 影	子 羽
明 星 や 光 を さ め て 初 霞	成 美